

市立病院に 新院長が就任 & 常勤医が着任!

市立病院情報 みんなの処方箋

問合先
市立病院管理課
総務医事係
(☎22-1101)

市立病院では、これまで副院長として当院を支えてきた新居利英医師が令和5年4月1日付で院長に就任しました。また、内科の常勤医として新たに2人の医師を迎え、充実した医療サービスの提供に努めています。今月は、新居院長と常勤医として着任した小杉英史さん、松田佳樹さんに地域医療への思いなどについて聞きました。

みなさんが安心して受診でき、信頼される病院を目指します。そのためには働き手の充実が大きな要因の一つと考えており、職員同士で一定の業務を分担するタスクシフトによる業務の効率化や各種研修制度を充実して職員のスキルアップを図り、市民のみなさんへ還元でき

目指す病院の姿

当院は、北空知2次医療圏における中核病院であり、急性期病棟を持つ唯一の病院です。人員・設備的にすべての疾患に対応することはできませんが、周辺地域基幹病院と連携して途切れない医療を提供しています。また、病院周辺の介護老人保健施設からの紹介も多いことから、患者さんは高齢の方の割合が他の病院と比較して高い特徴があります。

市立病院の特徴

令和5年4月1日付で、深川市立病院院長に就任した新居利英です。当院へは、平成19年に副院長として着任して以来、外科を担当しています。

自己紹介

1 静かで過ごしやすく、すぐになじむことができました。市内の飲食店の情報を集めており、興味のあるお店がたくさんあるので、これからは楽しみます。

2 消化器内科医として内視鏡を用いた専門的な治療に携われる当院に魅力を感じました。また、当院は所属している旭川医科大学病院からの出張医が多く、困った時にサポートしてくれるという安心感もありました。

3 もともと人体の仕組みに関心があり、大学で実習を重ねる中で、身近に起こる体の悩みや苦痛などの相談に乗れる内科医を目指すようになりました。診療では、患者さんに寄り添うことを心がけており「先生に診てもらえてよかった」と言ってもらえた時にやりがいを感じます。

4 確実に素早い診療も重要だと思いますが、話をよく聞き、患者さんが何を求めているのかを適切に判断することを最も大切に診療しています。

5 一緒に働く職員や医療関係者とともに良い医療と安心を市民のみなさんに提供し、深川市の医療に貢献していきたいと思っています。「消化器内科医と言えば小杉先生!」と市民のみなさんに思ってもらえるよう、これから頑張ります。

- ① 深川市で過ごしてみたいかがですか
- ② 当院に勤務を決めた理由は
- ③ 医師となったきっかけややりがいなどは
- ④ 診療にあたり大切にしていることは
- ⑤ 市民のみなさんへ

1 親しみやすい人が多い印象です。落ち着いた雰囲気、夜もぐっすり眠れるので快適に過ごせています。

2 旭川医科大学での初期臨床研修が修了し、消化器内科専門医の資格取得を目指すため、その環境と指導体制が整っている勤務先を希望したところ、大学から当院の紹介を受けました。

3 高校時代に人の命に関わる「医師」という職業に魅力を感じ、医学部を目指しました。旭川医科大学卒業後、初期臨床研修2年目の時に指導いただいた内科医が、患者さんが投げかける身近な疑問に対して、何でも的確に答えている姿に憧れを抱き、私も内科医になることを志しました。

4 患者さん一人ひとりに真摯に向き合うことです。内科診療は、患者さんに外傷がないことなどから、診断が難しいことが多いです。そのため、画像や血液検査の結果だけではなく、患者さんの訴えや症状も踏まえ、その方に合った診療を行えるように心がけています。

5 身近に起きる症状一つ一つに対して、適切な診断と対策、治療を行える医師を目指し、深川市の医療に貢献できるよう頑張りますので、よろしくお願ひします。



内科医
小杉 英史
こすぎ ひでふみ

内科医
松田 佳樹
まつだ よしき

市立高等看護学院とは、当院の看護師を確保して北空知の医療を支えるためにも、緊密な関係を築いており、優秀な看護人材を育成しています。教員のみなさんは、日ごろから情熱を込めて指導してくれており、ありがたいと思っています。学生たちは高度な技術と知識を短期間で習得する必要がありますが、大変な3年間を過ごしますが、実習で活用する最新の機材なども充実した学院で、教員や仲間と切磋琢磨し、頑張っていると思います。

市立高等看護学院との関係について

ればと思っています。また、コロナ禍以前に実施していたホスピタル・フェアをはじめとする各種イベントを開催し、みなさんが気軽に来院できる「多機能で、より開かれた病院」にしていきたいです。

院長として大切にしていること

各種統計推移からも予測できるように、今後も全国的に高齢の方の割合は増加し、医療の需要は高まると思います。そのため、今まで以上に業務の効率化が必要であり、職員同士なんでも話し合える関係を築いていくため、私からも積極的にコミュニケーションを図るよう心がけています。その中で「自分の考えが古いこともある」ということを常に頭に置き、若手職員の見解も真摯に受け止めるようにしています。

また、北空知1市4町の地域医療および介護サービスの総合的な提供体制の整備と連携を推進するため、当院内に北空知地域医療介護連携支援センターを設置し、医療・介

市民のみなさんへ

医療は、消防や警察、市役所の各種公共サービスと同様に、生活になくてはならないサービスネットワークの一つですが、地域医療の継続には市民のみなさんの支持・応援が必要不可欠です。ご意見やご要望があればお寄せください。

また、病気が早期発見・治療が重要です。健康診断や人間ドックなどを積極的に受診し、いつまでも健康的な生活を送ってください。



市立病院新院長
外科医 新居 利英
あらい としひで